



Nagasaki University Access Map

## 長崎大学リレー講座2013 開講にあたって



長崎大学長  
片峰 茂

いま日本の大学に課せられた最大の使命は、グローバル人材＝国際社会の中で存在感を発揮し、世界の明日を創造することのできる人材の育成です。長崎大学はそのために教育の大改革に取り組んでいます。そして、その推進役となるべく、来年度からは経済学部「国際ビジネスコース」と新学部「多文化社会学部」がスタートします。今回のリレー講座のテーマは「明日を創造する人材の条件」。多文化社会学部を担うフレッシュな教員も登壇します。

※多文化社会学部については、平成26年4月開設予定で、現在設置計画書を提出中です。



長崎新聞社  
代表取締役社長  
本村忠廣

『継続は力なり』の言葉通り、リレー講座は4回目を迎え、「市民の知を刺激する」長崎大学の卓越した取り組みとして、長崎の秋の恒例イベントとなりました。長崎大学と手を携え、このような「知」の地域貢献に参加できることを大変誇らしく思います。今回も各界で活躍される素晴らしい講師の方々ばかりです。どのような刺激的な話を伺えるのか。市民の皆さんと一緒に、楽しみたいと思います。

## 長崎大学 リレー講座2013



## 明日を創造する 人材の条件

長崎大学は現在、全学を挙げて、グローバル人材の育成に取り組んでいます。

では、今の若者には、どのような素養が求められているのでしょうか。

本年度の「長崎大学リレー講座」は、この問いに正面から挑みます。

かつて長崎は、海外からの唯一の窓として新しい文化を受け入れ、

日本の産業や文化、社会を変革した多くの偉人達を輩出しました。

そして今、多文化の坩堝である現代社会で存在感を発揮できる人材の条件とは何なのか。

教職員、学生、市民の皆さまとともに考えたいと思います。

写真左上から時計回りに／「坂本龍馬」(高知県立歴史民俗資料館所蔵)／「トーマス・B・グラバー」(「大浦展」)「本木昌造」(長崎歴史文化博物館所蔵)

後援／長崎県・長崎市・長崎市教育委員会・長崎経済同友会・  
長崎県経営者協会・長崎商工会議所(一社)長崎青年会議所・  
長崎都市経営戦略推進会議・長崎経済研究所・NHK長崎放送局



長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY



長崎新聞社

主催／長崎大学 共催／長崎新聞社

### 参加無料

会場／長崎大学中部講堂  
(文教キャンパス内)

### お申し込み・お問い合わせ

お申し込みは長崎大学ホームページへ

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

受付電話番号

TEL.095-819-2007

(長崎大学広報戦略本部)

※受付時間／平日 10:00～17:00

国立大学法人

長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY

〒852-8521 長崎市文教町1-14

# 長崎大学リレー講座2013 明日を創造する人材の条件

## 第1回

10月23日(水)  
19:00～20:30

### 夢をかなえる生き方

1年のうち250日を海外のワールドツアーで過ごすこと20年あまり。世界一の連続出場記録をもつ“鉄人”であり続けることができた理由や、コミュニケーション能力に支えられたアウェーをホームに変える方法など、世界の第一線で戦い続けることを可能とした秘訣を語ります。



元プロテニスプレーヤー  
杉山 愛

最高世界ランク ダブルス1位&シングルス8位。オリンピック出場4回。グランドスラム62回連続出場の世界記録達成。2009年の東レバンパシフィックオープンを最後に現役引退。現在は後世育成活動やコメンテーターとして活躍中。



山下敬彦

副学長  
工学研究科  
教授

## 第2回

11月1日(金)  
19:00～20:30

### あたり前の国、日本

日本に暮らす私達は、現在のこの生活をあたり前と感じています。しかし、海外で暮らしてみると、それが良いか悪いかは別にして、私たちが如何に特異な世界に生きているか、という事に気が付きます。グローバル社会に近づく第一歩として、私たちの生活と価値観が「あたり前でない事」を一緒に発見します。



世界銀行  
多国間投資保証機関前長官  
小林いずみ

2001年メルリンチ日本証券株式会社代表取締役社長に就任。2008年11月から2013年6月まで、世界銀行グループ、多国間投資保証機関の長官を務める。2005年10月には、米ウォールストリート・ジャーナルの「注目すべき女性50人」に選ばれる。



加藤誠治

国際健康開発研究科副科長  
国際連携研究戦略本部  
教授

## 第3回

11月6日(水)  
19:00～20:30

### 字幕の裏側 ～異文化理解への道～

異文化の言語を字幕翻訳するには、その文化の歴史、風習、政治などの背景を理解しなければなりません。1500本以上の字幕翻訳を通じて得た、異文化理解への道。そのコツを少しだけ紹介します。異文化を理解するには何が必要なのか、あなたの答えを見つけ出してください。



映画字幕翻訳者  
戸田奈津子

好きな映画と英語を生かせる職業、字幕づくりを志すが門は狭く、フリーで翻訳をしながらチャンス等待つ。1980年の話題作「地獄の黙示録」で、本格的なプロとなり、以来、1500本以上の作品を手がけている。



稲田俊明

言語教育研究センター長  
教授

## 第4回

11月13日(水)  
19:00～20:30

### リーダーシップの旅 ～自分にとっての リーダーシップ～

時代がリーダーシップを求めている。しかし大多数の人々は、「自分には関係ない」ものと思い込んでいるかのようだ。これは悲劇だ。リーダーシップは、人生を真剣に生きようとするすべての人の目の前に広がる挑戦だからだ。リーダーシップの本質に迫り、自らの手で未来を拓く挑戦を、ともに展望する。



特定非営利活動法人アイ・エス・エル理事長  
社会イノベーション・公志園発起人  
野田智義

インシアード経営大学院助教授等を経て、2001年全人格リーダーシップ教育機関ISL創設。ハーバード大学経営学博士。共著に「リーダーシップの旅(光文社)」。過去インシアードで、3年連続最優秀教授賞を受賞。



西村宣彦

経済学部  
教授

## 第5回

11月20日(水)  
19:00～20:30

### 日本の自然を通して 見る未来 ～日本文化の美しさ～

北に流水、南に珊瑚礁がある世界でも稀な国、日本。高い山脈や複雑な海岸線を持ち、多様性に富んだ生物が住んでいます。この豊かで美しい自然が、多様で繊細な文化と勤勉でやさしい日本人を創ったのだと思います。この国の自然の多様性は、未来の可能性です。本講演で自然の声に耳を傾けて下さい。



作家  
C・W・ニコル

世界の国々で自然に関わる仕事に従事する。1980年から長野県黒姫に居住し、執筆活動を開始。1995年に日本国籍を取得。自ら荒れた森を購入し、生態系の復活を試みる活動を行う。著書に「マザーツリー・母なる樹の物語」(静山社)



増田 研

水産・環境科学総合研究科  
准教授

## 第6回

11月28日(木)  
19:00～20:30

### グローバル化時代を 生きる人材とは何か?

語学が堪能でも、語るべき「何か」を持たなければ国際社会では通用しない。真のグローバル人材とは、自らの国や地域を深く掘り下げる識見を持ち、そこにアイデンティティのある人間であると私は考えている。グローバル化時代を生きる人材に求められる素養について、長崎に視座を置き考察してみたい。



(一財)日本総合研究所理事長  
多摩大学学長  
寺島実郎

早稲田大学大学院政治学研究科修士課程終了後、三井物産入社。三井物産常務執行役員、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授等を経て現職。著書に「何のために働くのか 自分を創る生き方」(文春新書)



木村直樹

多文化社会学部設置準備室  
准教授